安井鍼灸整骨院 NEWS VOL. ７９（４月）

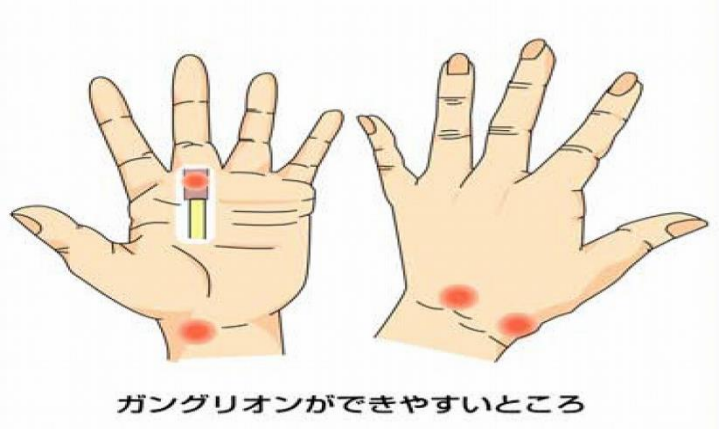
こんにちは。安井鍼灸整骨院です。今回は、ガングリオンについてです。

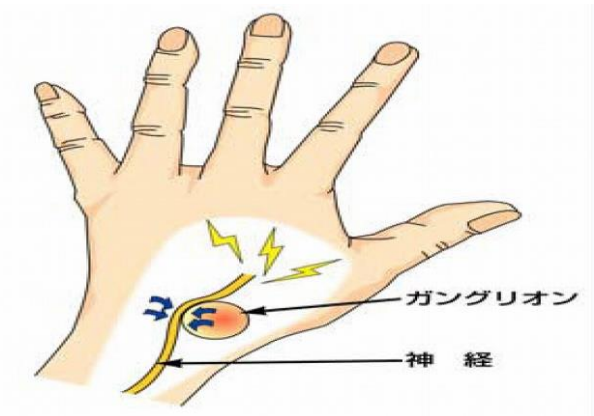
ガングリオンとは

症状ゼリー状の物質が詰まった腫瘤であり、柔らかい場合と硬い場合があります。
ガングリオンができやすい場所は、手関節背側（甲側）があり、これは手関節にある関節を包む袋である関節包につながっています。他に、手首の母指（親指）側にある掌側の関節包、ばね指の生じる指の付け根の掌側の腱鞘などにできやすいとされています。ただし、体のあらゆる場所にできる可能性があり、手だけにできるものではありません。なお、骨や神経、筋肉などに生じたものは、粘液変性したものが融合していると考えられています。

ガングリオンの症状

症状関節の周辺や腱鞘のある場所にでき、大きさは米粒大からピンポン玉大までです。痛みなどの症状は、ガングリオンが神経の付近にできて神経を圧迫した際には生じることがあります。運動障害やしびれが起こるケースもあります。手を使い過ぎると腫瘤が大きくなる傾向があります。





ガングリオンの原因

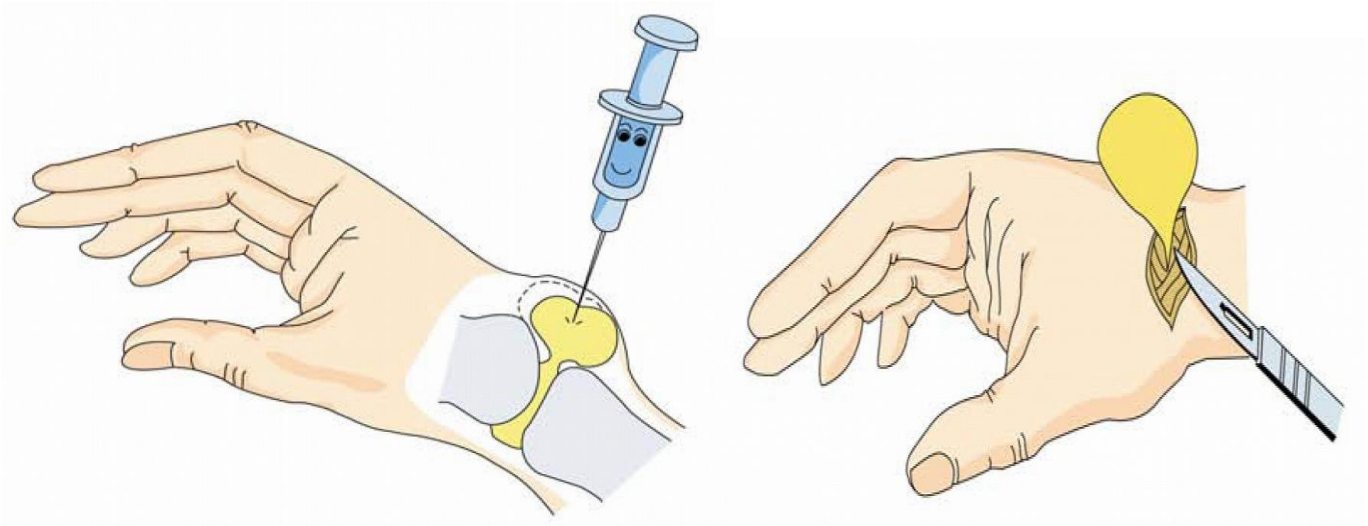
手を良く使うからできるというものではなく、なぜガングリオンができるのかはまだはっきりとわかっていません。主に関節包や腱鞘の部分から発生する良性の腫瘤であり、若い女性に比較的多く発症します。
関節液や腱と腱鞘の潤滑油である滑液がガングリオンの袋に送られて濃縮し、ゼリー状になっています。関節や腱鞘に生じるガングリオンは関節や腱鞘につながっており、関節包から長い茎でつながっていることもよくあります。

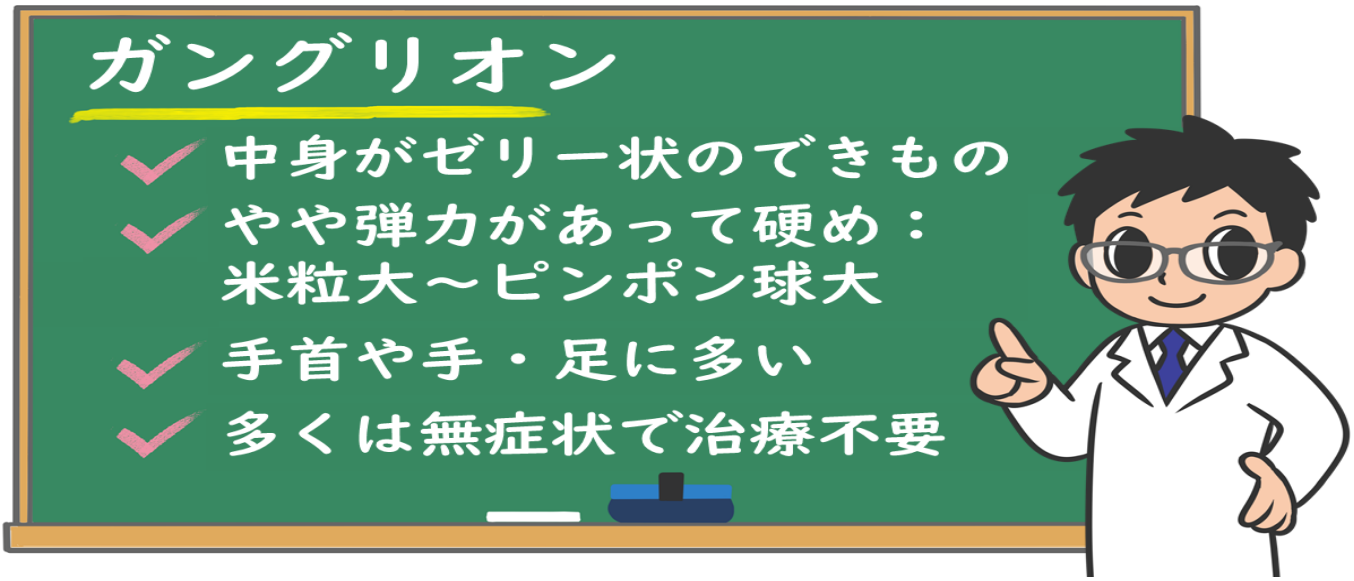
ガングリオンの診断

診断触診と注射針を刺してゼリー状の内容物を吸引して診断します。手関節の痛みがいつまでも続く不顕性のオカルトガングリオンなど、外側から触れない小さなガングリオンでは、MRI や超音波検査を行います。

ガングリオンの治療

痛みの症状がなければ放置して自然治癒に任せることも可能ですが、他の疾患の可能性もあるため、受診して診断を受けてください。
痛み、しびれ、運動障害などがあるもの、大きくて日常生活に差し支える場合には治療が必要です。
保存的療法では、ガングリオンに注射針を刺して注射器で吸引して内容物を排出する方法が一般的です。何度か吸引治療を受ける必要がある場合もあります。また、押し潰す治療法もあります。ただし、こうした治療は神経や骨、筋肉などの正確な知識がある専門医が、適切に行う必要があります。ご自分で圧迫を加えるなどした場合、感染を起こすなどの可能性が高まりますので、必ず整形外科の専門医に治療を受けましょう。
こうした保存療法を何度か受けても再発を繰り返す場合には、手術を検討します。再発を防ぐためには、茎を含めたガングリオンの摘出、関節包の周囲に生じるガングリオン予備群の娘シストの確認も重要になってきます。





安井鍼灸整骨院　０７８－９９５－９４６１　新患の方は、来院前に予約の御協力をお願いします。

9：00～12：00　16：00～21：00(月～金)　８：３０～13：00　16：00～20：00(土)

駐車場正面に２台　キッズスペースあり　夜２０：３０まで受付　詳しくはHPをご覧ください。

兵庫県明石市大久保町大窪１９２１番地の１クレージュ山手１０１号(カラオケまねきねこ横)